

安倍自公政権の暴走 ストップを! 市議会でも一致点で共闘

TPP関連法、カジノ推進法、年金カット法の強行採決、南スーダンへの自衛隊の派遣——安倍政権は、国民の声に耳を傾けず暴走に次ぐ暴走を繰り返しています。

安倍政権の暴走政治から、市民の暮らしと平和を守る一致点で、市議会でも、共闘が広がっています。

南スーダンへの自衛隊派遣 中止・即時撤退を!

内戦が激化する南スーダン。

一昨年成立した安保関連法のもと、他国国民への武力行使を可能とする「駆けつけ警護」など新たな任務が付与され、自衛隊が派遣されています。

南スーダンへの派遣は、全国の自衛隊がローテーションを組み実施されており、現在は青森の第9師団が派遣されています。熊本の自衛隊も今後派遣される可能性は否

定できません。

熊本地震で救援・物資輸送・被災者支援に尽力してきた自衛隊員を、殺し殺される現場に送ることは、許されません。

12月市議会では、南スーダンへの自衛隊派遣の中止・即時撤退を求める意見書を、市民連合（民進・社民系、無所属）と連携し提出。自民党・公明党などが反対し、意見書は不採択となりました。



食と農をおびやかす TPP参加の中止を!



日本の農業や医療に重大な影響を与えるTPP。国会の審議を通じ、熊本市の基幹産業である農業や市民の命を守る医療などが、多国籍企業のもうけを優先に、脅かされることが明らかになりました。

TPP関連法の廃止を求める意見書を他会派と提案。自民・公明などの反対で不採択となりました。

※意見書や議案に対する各会派の賛否の詳細は2面をご覧ください。

北口和皇議員へ2度目の議員辞職勧告を議決

職員への不当要求を繰り返し行うなど、北口和皇議員の政治倫理違反が大きな問題となっています。市議会は、2度目となる議員辞職勧告決議を全会一致で可決しました。

また、「北口和皇議員の不当要求行為等に関する調査特別委員会」を設置し、市議会としても真相究明とともに、北口議員の責任を徹底追及する決意です。

全く反省のない北口議員

議員辞職が勧告された北口議員は、その後も市民に対する説明責任を果たさないばかりか、市と市議会に対する批判に転じ、反省の色は全く見られません。議会の勧告を真摯に受け止め、すみやかに辞職すべきです。

政治倫理審査会も「議員辞職」を勧告

議会だけではなく、政治倫理審査会においても、「市民の信頼を失墜させ、公共の利益の観点からも見過ごしにできない。今一度、一市民の立場に立ち返り（辞職し）市議とは何をなすべきか再考することを求める。」と議員辞職を勧告しています。

困ったことのご相談は日本共産党市議団へ ☎328-2656